資料1－1

令和元年度事業報告
決算報告

運営に関する事項

○理事（15名）・監事（2名）

代 表 理 事	羽賀　友信	長岡市国際交流センター
副代表理事	西脇　美智子	長岡市茶道文化協会
副代表理事	河村　正美	公立大学法人長岡造形大学
副代表理事	渡辺　美子	米百俵まつり実行委員会
理　　事	稲垣　文彦	（公社）中越防災安全推進機構　業務執行理事
理　　事	阿部　巧	（公社）中越防災安全推進機構ムラビト・デザインセンター
理　　事	樺沢　敦	株式会社ＦＡＲＭ８
理　　事	桑原　眞二	NPO法人ながおか生活情報交流ねっと
理　　事	佐竹　直子	チーム中越、蔵王の森こども園　園長
理　　事	高木　仁	NPO法人住民安全ネットワークジャパン
理　　事	本間　和也	（社福）長岡市社会福祉協議会
理　　事	水澤　元博	水澤電機(株)
理　　事	渡辺　仁	NPO法人キズナの森
理　　事	山岸　豊後	アクシアルリテイリング(株)・ＮＰＯ法人夢ハウスけやきの家
理　　事	清野　静香	暮らしと手とテの研究所
監　　事	土田　勝也	NPO法人ネットワーク・フェニックス
監　　事	高野　真規	たかの社会保険労務士事務所

○会員

種別	正会員	賛助会員
個人	３８人	８９人（１０１口）
団体	４団体	１５団体
合計	４２	１０４

令和元年度　会議に関する事項

○総会の開催

■通常総会
日時：令和元年6月3日（月）　19：00～21：00
会場：まちなかキャンパス長岡　交流ルーム
議題：第1号議案　平成30年度事業報告・活動決算
第2号議案　令和元年度事業計画・活動予算
第3号議案　役員に関する事項

○理事会の開催

■第1回理事会
日時：令和元年5月13日(月)19：00～
会場：アオーレ長岡　西棟3階　第1協働ルーム
議題：〇審議事項
（１）令和元年度通常総会の議事内容について
・平成30年度事業報告・活動決算
・令和元年度事業計画・活動予算
・役員に関する事項
〇意見交換
（１）総会後の意見交換について

■第2回理事会
日時：令和元年7月4日(金)19：00～
場所：アオーレ長岡　西棟3階　第1協働ルーム
議題：〇報告事項
（１）4月～6月期 事業報告
・市民協働センター運営事業
・自主事業
（２）4月～6月期 会計報告
・会員報告
（３）子ども食堂への寄付について
（４）職員退職に伴う求人募集について
（５）総会後の茶話会について
〇協議事項
〇その他

■第3回理事会
日時：令和元年10月10日(木)19：00～
場所：アオーレ長岡　西棟3階　第1協働ルーム
議題：〇報告事項
（１）7月～9月期 事業報告
・市民協働センター運営事業
・自主事業
（２）7月～9月期 会計報告
・会員報告
〇協議事項
（１）令和２年度 市民協働センター委託事業検討について
（２）ファンドレイジング部会の事業検討について
・夢の種プロジェクト
・スマートサプライ

■第4回理事会
日時：令和2年1月16日(木)　19:00～
場所：アオーレ長岡　西棟3階　第1協働ルーム
議題：〇報告事項
（１）10月～12月期 事業報告
・市民協働センター運営事業、自主事業
・管理指標
（２）10月～12月期 会計報告
10月～12月期 会員報告
（３）令和2年度市民協働センター事業計画について
〇協議事項
（１）次年度の計画について
・各部会に分かれて自主事業の計画を話し合い

■第5回理事会
日時：令和2年3月23日(月)
議題：〇報告事項
（１）1月～3月期 事業報告
・市民協働センター運営事業、自主事業
・管理指標
（２）1月～3月期 会計報告
1月～3月期 会員報告
・令和元年度決算見込みについて
〇協議事項
（１）令和２年度事業計画
（２）令和２年度予算計画

令和元年度　事業実績報告

１．市民協働センター運営事業　（委託事業）

【概要】市民活動団体や市民の市民活動に関する相談に対応。また、団体や市民が円滑に活動できるよう、知識習得の場や専門家サポートの提供、事務局支援を行う。

（１）活動支援・事務局支援業務

概要	センターの施設運営および相談業務を行う。また、組織講座開催・出前相談などで市民活動団体が活動するための知識取得や専門家のサポートを提供する。また、相談内容のデータベース化をし、蓄積されたノウハウを情報発信できるよう整備していく。

①市民協働センター相談窓口の運営

概要・実施事項	市民、団体、法人等から寄せられる相談（人物団体紹介、企画、広報PR、資金調達など）への対応、市民活動推進補助金の受付窓口として、相談者に寄り添い柔軟な対応をしていく。支所地域などでの出張相談窓口の開設もニーズがあれば実施する。 長岡市民活動推進事業補助金の受付・相談窓口として、団体に寄り添い団体の将来を見据えた補助金の使い方を相談するとともに、補助金活用後の自己資金比率の増加など自立に向けた計画づくりの支援ができるよう努める。また、協働係が新たに開催する補助金説明会&活用事例発表へ協力する。

実績

〇相談対応

【年間相談件数】　794件（前年度 年間相談件数851件）

相談件数は前年より57件減少した。

【①月別相談件数】（前年より3か月間で62件の減少）

令和元年度の前半の相談件数はほぼ前年度と同じくらいを推移していたが、市の補助金が早々に終了したことや、補助金制度のリニューアルに伴い、例年より周知が遅くなったこと。

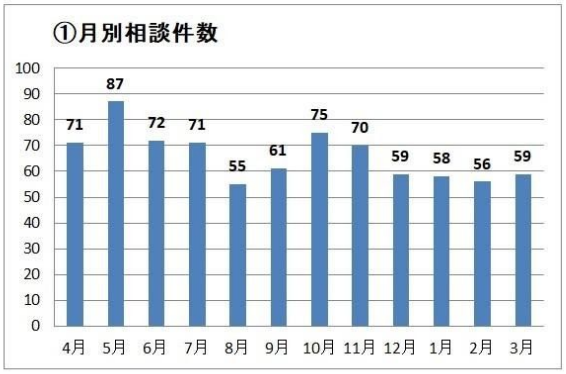
また、コロナウイルス感染拡大により先行きが読めなくことが影響として考えられる。

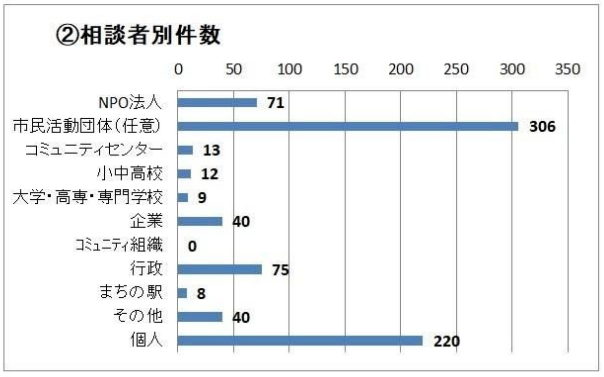
【②相談者別件数】

最も相談が多かったのは、市民活動団体で昨年度とほぼ同じ件数だった。

個人が13件減少、NPO法人が25件減少した

【令和元年度（平成31年4月～令和2年3月）市民協働センター相談対応状況集約】合計794件





【③相談内容】

年間通して人物団体紹介が最も多かった。（前年度より18件増）

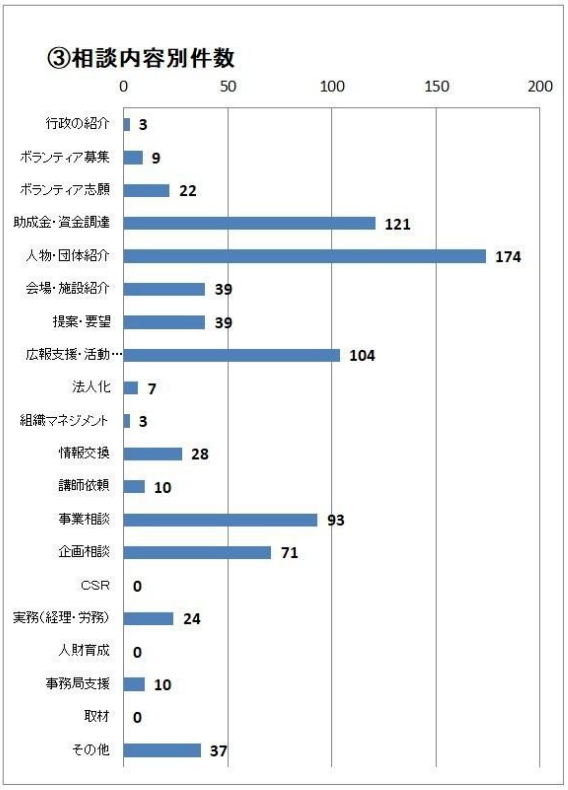
昨年度より相談件数が多くなってる項目は、事業相談（8件増）、企画相談（3件増）など組織運営に関する相談だった。

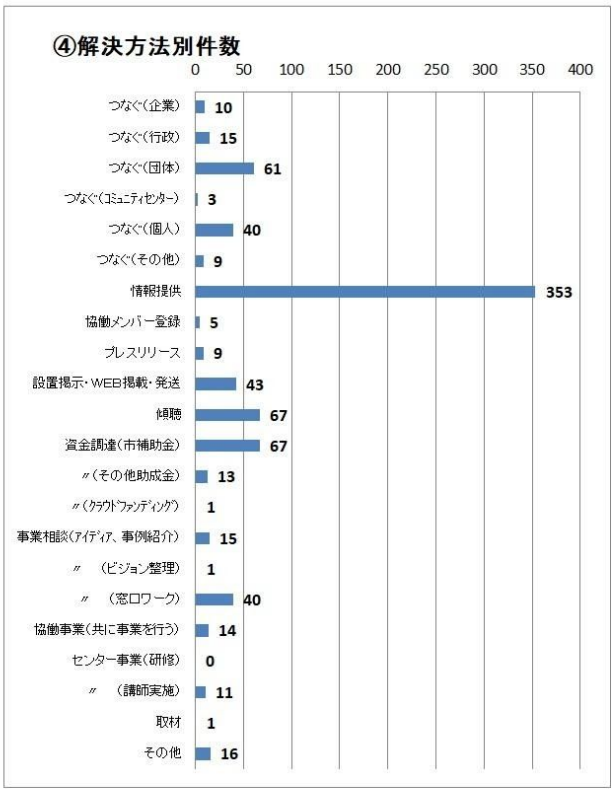
新しい活動のチャレンジや、事業のマンネリを解消するための相談が寄せられるようになり、活動へのアドバイスや事例紹介などといった伴走支援をすることが多くなった。

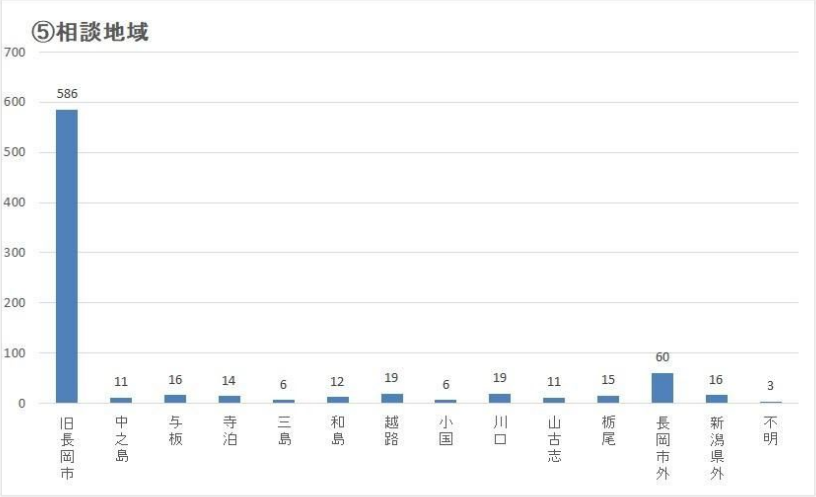
昨年最も相談が多かった広報支援・活動周知については前年度より44件減少した。

プレスリリースや広報周知については、講座でも取り上げて団体のノウハウが培われてきたこともあり、ある程度ニーズを満たしてきている傾向が伺える。

【④相談地域】
旧長岡市が前年度より15件減少した。
増加したのは、長岡市外5件、与板6件、寺泊1件、山古志3件。
他の各地域はそれぞれ微減した。







○長岡市市民活動補助金
令和元年度 年間交付決定41事業　10,072千円　（H30年度　47事業　9,463千円）

・2/22（土）　補助金活動発表会
長岡市市民活動推進事業補助金の活用事例を発表し、団体同士の情報を共有する場として「賢い補助金の使い方大公開！～補助金活用のノウハウをシェアします～」を開催した。
日時：2月22日（土）14:30～16：30
場所：アオーレ長岡　市民交流ホールB,C
参加人数：24団体29人
実施概要：第1部では、この補助金の活用実績のある団体が、補助金を活用して実施した事業について、背景や今後の展望などを発表した。

第2部では、参加者がグループに分かれ、「団体がパワーアップする補助金の賢い使い方を考えよう」というテーマで、テーブルトークを実施。補助金を活用する際に工夫したこと、反省したことや、今後やってみたい事業などについて様々な意見交換が行われた。

第一部　活用事例発表の様子

第二部　テーブルトークの様子

②相談内容のデータベース化、ノウハウ蓄積

概要・実施事項	相談内容の記録。よくある相談に関しては、相談ツールを整備する他、ホームページ内にFAQ作成することを検討。また、活動の参考事例として情報誌「らこって」の虎の巻にて団体の取組内容を紹介。
実績	○相談ツールの整備 相談対応に役立つ書類（これまでの講座資料や関連資料）を共有フォルダにまとめた。 ○ホームページFAQ ホームページコライト内にFAQページを新たに作成し、バナーをトップページに追加して見つけやすくした。

③組織運営講座の開催

概要・実施事項	コーディネーターによる組織運営基礎講座を拡充開催。H30年度テーマ「企画づくり」「会計」「イベント集客」「活動PR」の内容を精査すると共に、「プレスリリース」や「ファシリテーション」などニーズの高いテーマを加えることも検討。また、コミセン・中央公民館向けの講座として開催するか含め開催時期、開催方法について相談していく。外部講師による講座は、令和元年度実施しない。
実績	○第1回 組織運営講座（昼間開講） ①企画づくりの基礎 日時：6月6日（木）13:30～14:30 場所：第1協働ルーム 参加人数：8名　スタッフ5名　計13名 講師：岩渕直子（ながおか市民協働センター） 実施目的：NPO法人や市民団体などが活動する上で抱えている課題を解決支援するため、資金調達・広報などをテーマにした講座を開催し、活動のステップアップを図る。 実施概要：企画を作るにあたり、必要な事柄としてコンセプト作成や実施内容決め、日時会場やスケジュール立て、進行表の作成、次回に向けての振り返りといった項目を解説した。 特に、コンセプト作成については2つのパターンから考えるフレームワークを事例を交えて解説し、参加者からも実際に記入してもらった。普段から周囲の声にアンテナを張り、ニーズのあ

る企画を仲間から意見をもらいつつ、とにかく実践してみることで随時ブラシュアップしていくことを伝えた。
成果：
・企画づくりに必要な要素を整理し、参加者に伝えることができた。
・肝となるコンセプトについては、ワークを用いて実践的に理解を深める工夫を行った。
課題：スライドに掲載してない事例も話の中に織り交ぜ、より具体的な事柄を参加者に伝えられるような準備が必要。
改善点：早めの準備
満足度（平均）8.1点／10点満点中　回答者数7人（回収率75%）

②資金調達の基礎

日時：6月6日（水）14:40～15:40
場所：第1協働ルーム
参加人数：7名　スタッフ5名　計12名
講師：池戸熙邦（ながおか市民協働センター）
実施目的：NPO法人や市民団体などが活動する上で抱えている課題を解決支援するため、資金調達・広報などをテーマにした講座を開催し、活動のステップアップを図る。
実施概要：講座形式で資金調達の基礎について以下の要点で説明した。
・ファンドレイジングの基本的な考え方（団体を持続させる／団体の成長を図る／資金源のバランスが大切）
・会費、寄付の獲得、活用方法
・事業収入の獲得、活用方法
・投資的資金（補助金など）の獲得、活用方法
・補助金申請のポイント
成果：
・資金調達を図るうえで欠かせない視点について概ね理解された。
・多様な資金調達手段を実施可能とした。
・過不足なく、正当に審査される補助金申請書の書き方を理解された。
課題：講座時間に比べ、用意した講座内容・スライドの量が多すぎて、早口気味に説明せざるを得なかった。ワークを行うなどすると、より自分事として講座に臨めるよう仕向けたかもしれない。
改善点：早めの準備／講座内容の適量化
満足度（平均）8.5点（10点満点中）　回答者数6人（回収率85%）

③イベント広報のコツ

日時：6月13日（水）13:30～14:30
場所：第1協働ルーム
参加人数：13名　スタッフ5名　計18名
講師：髙橋秀一（ながおか市民協働センター）
実施目的：NPO法人や市民団体などが活動する上で抱えている課題を解決支援するため、広報をテーマにした講座を開催し、活動のステップアップを図る。
実施概要：講座形式でイベント集客のコツについて以下の要点で説明した。
・イベント集客には情報流通量と魅力を伝える広報物が欠かせない。
・情報流通量を増やすためには「チラシ／ポスター活用」「メディア活用」「web活用」「人づて」の4種の方法があり、詳細を伝えた。
・チラシ広報物の作り方のポイントを伝えた。
・信頼性をアップさせるため、行政の後援について手順などを伝えた。
成果：
・イベント広報の基本的な考えとして、長岡地域でイベント情報の情報流通量を増やす具体的な手法及び魅力を伝えるチラシの作成方法を伝え、+αとして後援申請についてお伝えした。
・アンケート頂いた方からは、概ね満足したことが分かるため、多くの受講者がそれぞれ使えそうなイベント集客の手段やコツを持って帰っていただけたと思われる。
課題：資料スライドが多く、1時間で伝えきることが精一杯だったので、一方的になった。
改善点：広報とチラシの作り方それぞれ1時間の講座に分けることで、ワークなども実施できると更に満足度が上がると感じた。

満足度（平均）8.6点　　回答者数　10人（回収率76%）

④共感を呼ぶ活動PR

日時：6月13日（水）14:40～15:40
場所：第1協働ルーム
参加人数：11名　スタッフ5名　計16名
講師：太田道子（ながおか市民協働センター）
実施目的：資金、仲間などを集めたり、認知を広げるために広報周知が必要となる。活動の目的を見える化し、自発信することの必要性を伝え、活動のまとめ方をワークを通して整理する。
実施概要：ワークを織り交ぜながら団体の活動目的や内容などを基礎情報として公開していくための準備を行った。
・情報をまとめるメリットと発信する大切さを伝えた。
・HP、パンフレットなど、まとめたものの活用方法について。
・発信ツール別の特性を記したシートを使いそれぞれの特性について説明した。
・活動報告の必要性について。
成果：
・活動の目的に応じて、伝えたい人を意識した情報の切り取り方を紹介し、共感を呼ぶためにはどんなことを伝えるとよいかの整理を行った。
・ワーク後の変化を受講者に発表してもらうのは、ただ聞いてるよりもよかった。
・活動の背景や目的、具体的な活動内容といった情報を整備して伝えていくことの必要性を伝えた。
課題：講座内容を自分なりに言い換えるように資料作りをしないと伝わらない。
改善点：
・内容の情報量が少なかった。
・イベントPRする話と活動PRする話が混在してしまった。
満足度（平均）7.9点（10点満点中）　回答者数7人（回収率63%）

⑤会計の基礎

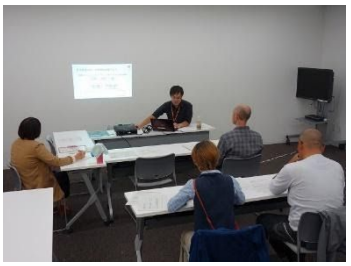
日時：6月19日（水）13:30～15:00
場所：第1協働ルーム
参加人数：4名　スタッフ1名　計5名
講師：伊佐恵理（ながおか市民協働センター）
実施目的：初心者講座として、市民活動団体や市民活動補助金の取得団体をターゲットに、最低限押さえておきたい会計報告の方法や、日々の処理や帳票の保管方法を知ってもらうために行った。
実施概要：市民活動の会計処理の仕方・まとめ方として、日々の業務から決算までをワークを交えて学ぶ初心者講座として開催した。
・市民活動の会計の基礎ということで、お金の流れから、管理の方法までを紹介。
・予算の立て方から会計報告までの流れを説明。
・ワークとして簡単な仕訳と帳簿の書き方の説明と実践。
・出納帳、収支計算書の作成。
成果：
・会計や決算と聞くと敬遠しがちだが、仕組みがわかればそれほど難しくないことを知ってもらえた。
・実際にワークをすることで、一連の会計の流れを体感してもらえた。
・事例紹介よりも、実践のワークのほうが、身につくと感じた。
課題：
・参加者は会計初心者も多く、科目の分け方や使い方などをもう少し丁寧に紹介したほうが良いと感じた。
・ワークの内容に誤りがあったので都度修正しながら行ったが、少人数じゃない場合はフォローが大変なので、しっかりと資料の整備に時間をかける。
・手計算よりもより実践に近いPCを用いた会計作業講座も需要があるように感じたため、講座やテーマ別相談サロンで取り組めないか検討したい。
改善点：科目の紹介を丁寧に行う、受講者の事前告知の強化。
満足度（平均）8.8点（10点満点中）　回答者数4人（回収率100%）

〇第2回 組織運営講座（夜開講）

①企画づくりの基礎

日時：10月3日（木）　会場：第1協働ルーム
講師：岩渕直子　　参加人数：9名（内スタッフ２名）
実施概要：企画を作るにあたり、必要な事柄としてコンセプト作成や実施内容決め、日時会場やスケジュール立て、進行表の作成、次回に向けての振り返りといった項目を解説した。
特に、コンセプト作成については2つのパターンから考えるフレームワークを事例を交えて解説し、参加者からも実際に記入してもらった。普段から周囲の声にアンテナを張り、ニーズのある企画を仲間から意見をもらいつつ、とにかく実践してみることで随時ブラシュアップしていくことを伝えた。
成果：ワークをすることで、より自分の考えを具体化した企画を練ることができた。
課題：今回、じっくりワークに取り組めるよう周りとの共有タイムを設けなかったが、最終的に時間が余ったので、共有する時間を取るべきだった。次回以降、実施しながら時間配分を調整できるよう準備する。
次への改善点：早めの準備
満足度（平均）8.0点　　回答者数　7人（回収率100%）

②資金調達の基礎



日時：10月9日（水）　会場：第1協働ルーム
参加人数：6名（内スタッフ3名）　　講師：池戸熙邦
実施概要：講座形式で資金調達の基礎について以下の要点で説明した。
・ファンドレイジングの基本的な考え方（団体を持続させる／団体の成長を図る／資金源のバランスが大切）
・会費、寄付の獲得、活用方法
・事業収入の獲得、活用方法
・投資的資金（補助金など）の獲得、活用方法
・補助金申請のポイント
同様の内容で行った6月の講座からの改善点として、実際に幾つかのNPO法人の会計資料を参考資料として引用して内容の具体性向上に努めたり、発展的内容を削り基礎的な内容に多くの説明時間を割くなどした。
成果：
・資金調達を図るうえで欠かせない視点について概ね理解された。
・多様な資金調達手段を実施可能とした。
・過不足なく、正当に審査される補助金申請書の書き方を理解された。
課題：6月に行った回と比べ、参加者が少なかった。原因として、広報が届いていなかったこと、ニーズをつかめていなかったことが考えられる。
ワークを行うなどすると、より自分事として講座に臨めるよう仕向けたかもしれない。
満足度（平均）7.3点（10点満点中）　回答者数3人（回収率100%）

③イベント広報のコツ

日時：10月17日（木）　会場：第1協働ルーム
参加人数：11名（内スタッフ3名）　　講師：高橋秀一
実施概要：講座形式でイベント集客のコツについて以下の要点で説明した。
・イベント集客には情報流通量と魅力を伝える広報物が欠かせない。
・情報流通量を増やすためには「チラシ／ポスター活用」「メディア活用」「web活用」「人づて」の4種の方法があり、詳細を伝えた。
・チラシ広報物の作り方のポイントを伝えた。
・信頼性をアップさせるため、行政の後援について手順などを伝えた。
成果：
・夜開催ということもあり、仕事帰りに受講される方もいた。1時間という時間に収めたことで、長すぎず効果的だった。
・アンケート頂いた方からは、概ね満足したことが分かるため、多くの受講者がそれぞれの現場で使えそうなイベント集客の手段やコツを持って帰っていただけたと思われる。

課題：
・内容が盛りだくさんだったので、もう少し詳しく教えてもらいたかったとの声もあった。
・受講者がついていくのがやっとの様子もあったので、もう少しコンパクトにまとめられるとよかった。
次への改善点：
・スライドの数をできるだけ少なくするために、コンパクトにまとめる。
・イベント集客の情報発信と広報のチラシ作りについて、それぞれ1時間の講座に分けて出来ると受講者の理解度も増すと思う。
満足度（平均）8.6点　　回答者数　７人（回収率100%）

④共感を呼ぶ活動PR
日時：10月25（金）　会場：第1協働ルーム
参加人数：8人（他スタッフ4名）　　講師：太田道子
実施概要：講座形式でイベント集客のコツについて以下の要点で説明した。

・共感してもらうための活動紹介（整理）のワークを行い、何を伝えたいかを知ってもらいました。その後、隣同士で自己紹介を通して、実際に共感を体感してもらった。
・伝えたいことを整理したのち、誰に何を伝えるかで、伝えたいツールが変わることを説明した。
・情報発信ツール別の、特徴を説明し、今自団体では何が必要か考えていただいた。
・発信するにあたり、最低限入れたほうがいい情報をリスト化し配布した。
成果：
・夜開催ということもあってか、忘れていて来なかった方が3人いた。1時間という時間に収めたことで、コンパクトにまとまっていた。
・少人数制もあり参加者の質問がいい事例となり、少人数でこそのいい面がでた
・アンケート頂いた方からは、概ね満足したことが分かるため、少人数制での活動のPRを今後も継続してもいい気がする。また時間を2時間にして、団体登録用紙を完成させるワークになってもいいかもしれない。
課題：
・受講者で活動のキャリアが違うので、団体で今必要な広報が違うことで、置いて行かれる人がいた。
・コミセンは、コミセンの事業に沿った講座が良いと感じた。
次への改善点：
・スライドのデザイン統一化
・参加者を増やす
満足度（平均）9.7点　　回答者数　4人（回収率100%）

⑤会計の基礎
日時：10月31日（木）　　会場：第1協働ルーム
参加人数：8人（他スタッフ２名）　　講師：伊佐恵理
実施概要：市民活動の会計処理の仕方・まとめ方として、日々の業務から決算までをワークを交えながら行った。

・市民活動の会計の基礎ということで、お金の流れから、管理の方法までを紹介。
・予算の立て方から会計報告までの流れを説明。
・ワークとして簡単な仕訳と帳簿の書き方の説明と実践。
・収支予算書、出納帳、収支計算書の作成。
成果：
・実務経験がない方もいた中で、会計や決算と聞くと難しくとらえがちだが、90分の時間を使い、じっくりお伝えできたため仕組みを理解してもらえ、難しくないことを知ってもらえた
・実際にワークをすることで、一連の会計の流れを体感してもらえた。
・口頭での説明だけよりも、実践ワークで手を動かす方ことで理解が進んだと思う。またワーク中に周りながら質問にも答えられ、かゆいところに手が届いた。
課題：

	・ワーク①で科目１つ１つ丁寧に紹介しないと誤った科目選択をしたままワークが進行してしまう。 ・内容が多く、90分でも超過してしまったため、内容の精査。 ・手計算よりもより実践に近いPCを用いた会計作業講座や、コミセンの会計システムに近い作業講座があるとより満足度が高まる。 次への改善点：科目の紹介を丁寧に行う、受講者の事前告知の強化 **満足度（平均）8.8点（10点満点）　回答者数６人（回収率100%）**
④団体出前相談の実施	
概要・実施事項	組織運営上の課題解決や、発展のために高度な支援を要する団体に向けて、専門家を派遣する団体出前相談を実施。また、コーディネーターによるテーマ別相談窓口（会計、補助金活用、広報など）の日程を決め、センターまたは支所地域等で実施する。
実績	○出前相談　【実施件数】　4件 10/23 ネット会議ツール講座 12/5　NPO法人医療と福祉の里…会計相談 1/20　NPO法人ピュアはーと…労務相談 3/12　NPO法人越の里山倶楽部…労務相談 ○テーマ別相談窓口 補助金・資金調達の日　【相談件数】3件 【実施日】5/15（水）、7/17（水）、8/21（水）、9/18（水）9/18（水）、10/16（水）、11/20（水）、12/18（水）、1/15（水）、2/19（水）、3/18（水） 会計の日　【相談件数】3件 【実施日】　6/26（水）、8/28（水）、10/23（水）12/25（水）、2/26（水） 広報の日　【相談件数】2件 【実施日】　5/22（水）、7/24（水）、9/25（水）、11/27（水）1/22（水）、3/25（水） 組織づくりの日　【相談件数】2件 【実施日】　5/20（月）、8/20（火）、2/20（木）
⑤センター施設・サービスの活用	
概要・実施事項	協働ルーム、展示スペース、情報・図書コーナー、印刷機、紙折り機、丁号機、穴あけパンチ、大型ホチキス、裁断機、ラミネーター、団体専用ロッカー、団体専用コンテナ、レターケースが十分に活用されるよう、活動団体に案内を行う。H30年度から導入した図書管理システムを本格運用させる。また、市民活動団体にとって利用しやすい方法で、イベント情報や各種募集情報など市民活動団体の広報PRを支援する。 支援方法・協働センターでポスター掲示。チラシ設置　・コライトへ掲載　・SNSで情報拡散　・（市民活動情報紙に掲載）　・（メールマガジンで情報配信）　・（メディアへの情報提供） ※括弧内は協働センターの運営業務を受託するNPO法人市民協働ネットワーク長岡の独自事業。
実績	○年間利用回数　ポスター・チラシ設置は昨年より100件ほど減少したが、印刷機・協働ルームの利用については昨年とほぼ同じ利用率となった。 ・ポスター・チラシ設置　1,096件（昨年度1,200件） ・印刷機の利用　1,112件（昨年度1,084件） ・協働ルームの利用　1,573件（昨年度1,596件）
（２）情報の受発信業務	
概要	市民活動団体の活動PRにあたって、情報誌やホームページ・SNS等各種媒体を用いて情報の発信を行う。ほか、相手からの情報をうけられるようにし、双方向での情報交換を行う。
①市民協働センター情報誌「らこって」発行（毎月4ページ／3,000部発行）	
概要・実施事項	一般市民向けに長岡市の市民活動を取り上げて紹介する。4～翌3月まで12回、A4・4ページの情報誌3,000部。例年、3月は8Pであったが、4Pとなり部数も他の月と変わらない。内容についてはH30年度のコーナー（人物紹介2、団体紹介3、事業者紹介1、組織運営ノウハウ紹介1、ほか）を軸に、フォントサイズを大きくし、見やすいレイアウトとなるよう工夫する。 誌面は毎月郵送にて希望者・団体等に発送。その際に、希望する団体のチラシ等を同封する。
実績	昨年度から継続して、メイン記事は団体の活動を支える「ヒト」にスポットをあてて取材を行う。

≪メイン記事（4月号～2月号）：　地域をよくするウワサのあの人にインタビュー　≫
毎月、市民活動に取り組むお二人をご紹介。活動に関わったきっかけや、どんな役目を果たしているのか伺う中で、活動への多様な関わり方を紹介。

3月号は長岡市市民活動推進事業補助金の効果的な活用事例を特集して以下の団体を紹介した。
NPO法人ながおかたすけあいネットBEライフ／ひだまりハウス～精神遅滞及び自閉症児を支える家族会～／ウィメンズヘルスlab／マウンテントレーラーズワシマ／てらどまり若者会議～波音～

・発送数：発送先 645件（3月発送時点）
・発送先：市内NPO法人、登録団体、市内公共施設ほか）
【チラシ等同封団体】
○4月　大手寄席、長岡クラフトフェア、ノルディックウォーキング、虫亀文化保存、
　　レッツライフオーガナイズ、機那サフラン酒
○5月　長岡楽しく学ぶ会、ソラヒト日和
○6月　IBKヒップホップダンス
○7月　長岡教会、越路大地の会、ながおか史遊会、フォーラム栃尾熱都、栃尾道院高原、
　　長岡アジア映画祭
○8月　フードバンク新潟長岡センター、長岡民話の会
○9月　フードバンク、ノルディックウォーキング、大地の会、連合中越、
　　オレンジプロジェクト、NPO法人ピュアはーと、長岡楽しく学ぶ会、IBKダンス
○10月　すまいるライフサポート、リコーダーアンサンブルひなたぼっこ、ソラヒト日和、
　　フードバンク、栃尾地区NPO協議会、IBKダンスサークル、新潟NPO協会、
　　長岡アジア映画祭
○11月 フェニックス・フォークフェスタ実行委員会
○12月　長岡アジア映画祭、おいしいご飯作って食べよう！の会、ソラヒト日和
○1月　長岡アジア映画祭実行委員会、連合中越（ワークライフセミナー）、
　　長岡警察（110番の日広報）、NDSP
○2月　ソーシャルビジネス支援ネットワーク、仮説サークル、Bloom blue、フードバンク、
　　アジア映画祭、NDSP

②FMながおか「つながるラジオ」番組スポンサー

概要・実施事項	コミュニティFMのスポンサー番組「つながるラジオ」の放送と取材コンテンツの活用。毎週月曜日17時～、月4回、FMながおかにて「つながるラジオ」を10分程度放送。長岡市で公益的な活動や社会貢献をしている市民活動団体や企業の活動を幅広く紹介する。 市民活動団体3団体と、事業者の社会貢献活動１組を紹介。取材内容を情報誌「らこって」、WEBサイト「コライト」に掲載する。リスナーからの投稿企画も継続。
実績	○『つながるラジオ』毎月4団体紹介

放送日	団体名
4/1	長岡アメリカンフェスティバル実行委員会
4/8	優香の会
4/15	おぐに歩こう会
4/22	NPO法人　建築・住教育研究会
5/6	有限会社 十二屋
5/13	しろうまる食堂
5/20	手づくり村相川
5/27	NPO法人　生命の貯蓄体操　長岡支部
6/3	株式会社　物理計測コンサルタント
6/10	認定NPO法人 UNE
6/17	チャレンジライフ

6/24	山古志角突き女子部
7/1	大光銀行
7/8	ねんねこ
7/15	Good Rice Field 与板
7/22	300回記念特別放送
8/5	KAWA ROCK
8/12	魚楽
8/19	浦瀬町奉楽保存会
8/26	フードバンク長岡センター
9/2	ながおか認知症の人と笑顔でい隊
9/9	株式会社ホーネンアグリ
9/16	山本地域活性化プロジェクト空き家チーム
9/23	ウィメンズヘルスlab
10/3	栃尾てまりの会
10/14	岡鶴堂菓子舗
10/21	アコースティックゴスペル温野菜
10/28	オンザロックオーケストラ
11/4	塚山みんな食堂
11/11	株式会社コバックス
11/18	コロロ親子の会
11/25	マウンテントレーラーズ和島
12/2	AILA2019参加高校生一同
12/9	株式会社 丸共
12/16	NPO法人中越防災フロンティア
12/23	葎谷神楽保存
1/6	新春スペシャル！2020協働宣言！
1/13	割烹野崎家
1/20	竹田げんきづくり会議
1/27	Hakkutsuプロジェクト(夢の種プロジェクト受賞者)
2/3	瞽女唄ネットワーク(夢の種プロジェクト受賞者)
2/10	ながおか史遊会(夢の種プロジェクト受賞者)
2/17	ひだまりハウス(夢の種プロジェクト受賞者)
2/24	障がいママサポートかけはし(夢の種プロジェクト受賞者)
3/2	花咲けみしま実行委員会
3/9	NPO法人ピアの森・狐遊庭
3/16	山下家具店　ヤマシタ長岡店
3/23	ろうきん長岡支店・長岡北支店
	年間出演団体　計46団体 (うち企業11社)

・市民投稿企画『つながるサンド』
4～2月　投稿テーマ「『これも協働!?』暮らしの中で感じた人とのつながり」
3月～　投稿テーマ「長岡みんなのSDGs」
4月　投稿数：4件　5月　投稿数：2件　6月　投稿数：2件
7月　投稿数：3件　8月　投稿数：3件　9月　投稿数：2件
10月 投稿数：2件　11月　投稿数：2件　12月　投稿数：8件
1月　投稿数：1件　2月　投稿数：2件　3月　投稿数：2件　年間投稿件数 33件
【投稿例】
先日あまりにも夕陽がキレイで立ち寄った砂浜で大量のごみを目の当たりにしました。なかには韓国語の書かれたごみも…。海はつながっているなと感じたのと同時に、世界で同じ認識をもって取り組まないと海の豊かさは守れないなと思いました。微力ですが時間に余裕があればは海岸のゴミ拾いしたいと思いました。

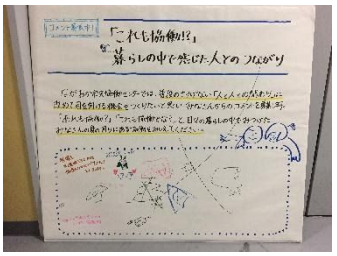
③Webサイト「コライト」の運営

概要・実施事項	団体情報、イベント情報、補助金紹介、ボランティア等募集告知情報の掲載など長岡市の市民協働推進に寄与する情報を掲載する。情報誌らこってに掲載した内容を読み物として紹介。登録団体の情報や、マッチングリスト、事業者のCSRに関する取組みなどを検索・閲覧しやすくなるよう適宜改修を行う。

実績	○年間平均ページビュー　前年度より約1700ページビュー増えた。 13,842ページビュー（前年度12,099ページビュー） 以下の事項などについてコライトの改修作業を進めている。 ・Instagram連携 ・迷惑メール対策 ・活動団体カテゴリーの精査 ・スマホ適正化　ほか
④ソーシャルメディア管理・運営（Facebookページ、twitter、Instagramアカウントの運用）	
概要・実施事項	引き続き、利用層に合わせた情報発信ができるようFacebook、twitter、Instagramの運営を継続し、市民協働に関する情報を適時発信する。
実績	○SNSフォロワー数（3月末日現在）　それぞれフォロワー数が増加した。 ・Facebook　2,230いいね（4月1日から増減：+127いいね） ・twitter　392（4月1日から増減：＋82） ・Instagram　263（4月1日から増減：＋86）
⑤協働を啓発する「パネル展」の実施	
概要・実施事項	H30年度取材分のインタビューパネル、団体紹介パネルを追加制作。 支所地域を中心に、センターの外で展示を行う。展示の相談を通じ、地域の関係機関と情報交換することで連携を深める。合わせて出張相談窓口の開設も検討する。

実績	昨年度同様、支所地域にパネルを持参し、一定期間展示するパネル展を実施。また出張相談窓口も臨時開設をした。昨年度のパネルに追加して、らこってでインタビューした人物のパネルを追加制作した。 ①長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展～おぐにコミセンまつり～ 日時：6月1日（土）10:00～15:00　　場所：小国コミュニティセンター 外部協力者：おぐにコミュニティセンター 田中センター長、シルバー人材センター 横山さん 実施目的： ・市民協働によるまちづくりの〈考え方〉や〈実践者の声〉を情報コンテンツとして更に発信することで市民協働を推進する。 ・支所や関連機関との関係性を強化し、協働センターとの情報交換が活発となる。 ・支所地域における協働センターの知名度向上を図り、支所地域からの相談件数が向上される。 ・協働センターにおいて蓄積してきた、情報資産を有効に活用する。 実施概要： ・おぐにコミュニティセンター５周年記念コミセンまつりの１階和室にて展示を行った。相談スペースも設け、来場者と気軽に話せるようにした。 ＜広報＞ おぐにコミセン利用団体にチラシを配布、LIMOにも周知を依頼、養楽館への掲示 ＜展示内容＞ 協働条例パネル、協働センター取説パネル、地域紹介パネル、プレイヤー紹介パネル（４枚） パネル展趣旨、 成果： ・足を止めて見てくれている方や、らこってを持って帰られる方もいらっしゃった。 ・小国出身者掲載のプレーヤーパネルが好評で、小国の人に紹介するいい機会となった。 ・相談とまではいかなかったが、小国観光協会会長やチームおぐに代表との情報交換はできた。 課題： ・休憩スペース自体への来場者が少なく、集客は想定よりも少なかった。 改善点： ・今回広報はおぐにコミセンにお願いしていた部分が多かったため、小国地域内の回覧板に入れてもらうなど工夫を行う。 ①長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展～川口サンローラ～ 期間：7月23日（火）～8月19日（月）　　場所：川口サンローラ　１階ロビー 外部協力者：川口支所長、川口サンローラ総務部　佐藤課長 実施目的： ・市民協働によるまちづくりの〈考え方〉や〈実践者の声〉を情報コンテンツとして更に発信することで市民協働を推進する。 ・支所や関連機関との関係性を強化し、協働センターとの情報交換が活発となる。 ・支所地域における協働センターの知名度向上を図り、支所地域からの相談件数が向上される。 ・協働センターにおいて蓄積してきた、情報資産を有効に活用する。 実施概要： ・夏休みおよびお盆期間の集客を狙い、サンローラ１階ロビーにて展示を行った。 ・相談BOXよりも気軽に展示を見た方からの声を可視化するため、手書きできるボードも展示。 ＜広報＞ 川口きずな館、アグリの里にチラシを掲示、Instagramで開催報告 ＜展示内容＞ パネル展趣旨、協働条例パネル、協働センター取説パネル、地域紹介パネル、

プレイヤー紹介パネル（４枚）、地域団体紹介ミニパネル（当センター登録７団体）



成果：
・らこってを持ち帰られた方もいた（設置数と残数の差より）
・手書きボードにもコメントが２件あった。
課題：
・常設展示だったため見てくれた方の反応がわからない。
・ボードのテーマが書きにくかったこと。
改善点：
・設置場所のスタッフさんに観覧者の動向を少し見てもらうなど、連携を強める。
・手書きボードのテーマをもっと気軽に記入できるものにする（感想ボードなど）。

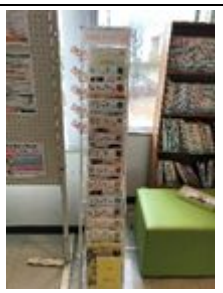
③長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展～越路支所～
実施日：2019年9月27日（金）～10月18日（金）
会場：越路支所　１階ロビー
外部協力者：越路支所　地域振興課防災係永井係長、総務係佐藤係長
実施概要：
・越路支所窓口に訪れる人の流れを狙い、越路支所１階ロビーにて展示を行った。
・パネル展開催期間中には、越路地区市民駅伝大会（9/29）や越路秋まつり（10/12）などの集客が見込まれるイベントも開催するため、実施期間を広く取らせてもらった。
＜広報＞越路地区内の各町内会回覧をしてもらえるよう手配した。
＜展示内容＞パネル展趣旨、協働条例パネル、協働センター取説パネル、地域紹介パネル、
プレイヤー紹介パネル（２枚）、地域団体紹介ミニパネル（当センター登録5団体）

成果：
・らこってを持ち帰られた方が多く、特に地域版が少なくなっていた（設置数と残数の差より）
・イベント開催時には、休憩ロビーとなっていたので、多くの方がパネルを見ていただけた。
（10/12越路秋まつりは台風のため中止。）
・支所ロビーに設置したことで、支所職員の方にも市民協働センターを認知してもらえた。
課題：
・常設展示による来館者の反応は、よく分からなかった。
・打ち合わせから準備までの時間が少なかったこともあり、周知活動が回覧板に頼る形になった。
・展示期間中に様子を見る時間がなく、らこっての補充が出来なかった。
次への改善点：
・（支所より）市民協働センターがアオーレにあることもわからないので、アオーレの紹介とともに協働センターの機能があるといいと思う。まず、支所職員がどんな相談に行けばよいか分からない人が多いとのこと。
・実施期間を早めに設定し、打ち合わせなども余裕をもって行えると、支所側の意見も取り込める。

④長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展～与板いきいき文化フェスティバル～
実施日：2019年10月27日（土）
会場：与板コミュニティセンター、与板体育館
外部協力者：与板支所 地域振興課　坂田様、与板コミュニティセンター　佐藤センター長
実施概要：
・与板いきいき文化フェスティバル開催に合わせ、会場となっていた体育館とコミュニティセンター内休憩スペースの一角を借りてパネルを展示、相談ブースを設置した。
・コミュニティセンター内の休憩スペースから体育館に来てもらえるように、壁面に掲示を行った。また、その休憩スペースに設置したラックから「らこって」を持って体育館に来てくれた人に風船を配布した。
＜広報＞支所にポスターの掲示を依頼。イベントのチラシにパネル展のチラシを同封していただいた。Instagramで開催報告を行った。
＜展示内容＞協働条例パネル、協働センター取説パネル、地域紹介パネル、プレイヤー紹介パネル（6枚）、地域団体紹介ミニパネル（当センター登録6団体）

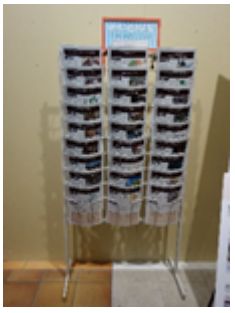
成果：
・体育館では、約50人が足を止めてパネルを見ていた。
・登録団体がいくつかイベントに参加しており、話をすることが出来た。
課題：
・コミュニティセンター内の休憩スペースでは、人がパネルを背にして座っていたため、あまり見てもらえなかった可能性がある。
次への改善点：
・人の動線を考えてパネルの設置場所を決めること。
・イベントでパネル展をする際には、そのイベントに出ている登録団体をあらかじめ把握し、地域団体紹介ミニパネルに反映すること。また、まだ団体登録していない団体に登録を促せるように、資料を準備して行くこと。

⑤長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展～中之島～
実施日：2019年12月2日（土）～12日（木）
会場：中之島支所一階ロビー、中之島与板コミュニティセンター
外部協力者：中之島支所 地域振興課　塩入様、中之島コミュニティセンター　小林センター長
実施概要：
中之島支所とコミュニティセンターで同時開催。中之島支所内のロビーには主に地域紹介パネルを、中之島コミュニティセンター内の廊下には主に人物紹介パネルを掲示。コミュニティセンターには、ラックを置き『らこって』を設置した。
＜広報＞支所とコミュニティセンターの両方に、チラシの設置とポスターの掲示を依頼。
Instagramでの開催報告を行った。
＜展示内容＞支所：地域団体紹介ミニパネル（当センター登録6団体）、地域紹介パネル、パネル展趣旨
コミュニティセンター：地域団体紹介ミニパネル（当センター登録6団体）、プレイヤー紹介パネル、協働センター取説パネル



成果：
・中之島の方が掲載されている「らこって」は、多くの人に持って行っていただけた。
・支所内のロビーは会議以外ではあまり人の出入りがない場所だったが、塩入様が地域委員会の参加者などにパネル展の説明をしてくださったので会議の参加者には見ていただけたと思われる。
・コミュニティセンター内の展示は入ってすぐの目を引く場所だった。小林センター長は、「多くの人に見ていただけたと思う」「このままここに置いておけばいいのに」とおっしゃっていた。
・パネル展開催後、中之島で活動している「花の輪クラブ」から団体登録の申請があり、団体登録数が1件増えた。
課題：
・支所とコミュニティセンターで同時開催していることをお知らせする掲示を、展示場所にしていなかったので、片方の展示しか見ていただけていなかった可能性がある。
・展示場所だった支所内のロビーが、ほぼ人の出入りのない場所だった。
次への改善点：
・団体登録の用紙も一緒に設置する。
・2か所で同時開催するときは、もう一方の会場にも誘導できるように掲示をする。
・支所との関係を強化する。

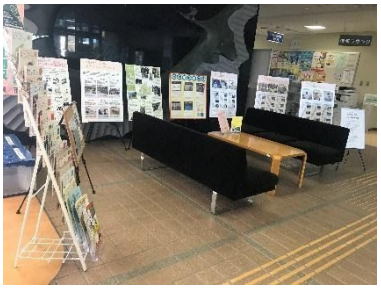
⑥長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展～リバーサイド千秋～
実施日：2019年12月17日（火）～2020年1月5日（日）
会場：リバーサイド千秋　リバーサイドコート前休憩所
外部協力者：リバーサイド千秋　アピタ・モール　モール副店長　守屋 功様
実施概要：
リバーサイド千秋内、リバーサイドコート前の休憩所にて開催。パネル、「らこって」のバックナンバーに加え、団体のマッチングリストの情報を印刷し、持ち帰ってもらえるようにラックに設置した。
＜広報＞Instagram、コライト、Facebookで告知した。
＜展示内容＞パネル展趣旨、協働センター取説パネル、企業のソーシャルアクション紹介パネル、地域紹介パネル、プレイヤー紹介パネル



成果：
・設置してあった「らこって」、協働センターの「はじめての利用ガイド」、団体の情報は、かなり減っており、なくなっているものもあった。年末年始で賑わっていたこともあり、多くの人に見ていただけたものと思われる。
・スペースが広かったため、多くのパネルを展示することができた。
課題：
・ラックに設置した団体情報に、問い合わせ先を載せていなかった。ラックの上に掲示したが、

持ち帰ってもらうことを考えると、それぞれに書いてある方がよかった。
・支所やコミュニティセンターのように、見た人に感想を聞いてくれる人がいなかったので、見た人の反応がわからなかった。
次への改善点：
・マッチングリストの情報を印刷して使用する場合は、問い合わせ先を掲載する。
・見た人に感想を書いてもらえるような物を設置する。

⑦長岡を盛り上げる ひと・団体・活動展　～三島～
実施日：2020年2月12日（水）～2020年2月28日（金）
会場：三島支所1階ロビー
外部協力者：三島支所　地域振興・防災係　廣川　明則係長
　　みしまコミュニティセンター、大島鉄工所、柳醸造株式会社、割烹　野崎家
実施概要：三島支所1階ロビーにて、確定申告の時期に合わせて開催。
　　パネルと「らこって」のバックナンバーを設置した。
＜広報＞
三島支所だより、三島コミセン新聞（コミセンだより）、Instagram、コライト、Facebookで告知した。三島体育館にチラシを設置、三島地域にある大島鉄工所、柳醸造株式会社、割烹　野崎家にポスターを設置。またコミセンだより効果で、まいぷれ長岡（WEB）にも掲載いただけた。
＜展示内容＞
パネル展趣旨、協働センター取説パネル、企業のソーシャルアクション紹介パネル、地域紹介パネル、プレイヤー紹介パネル



成果：
・様々な媒体や場所で告知をしたため、広くパネル展の存在を知らせることができた。
・支所やコミュニティセンター、地域の企業との連携を強化することができた。
・確定申告に支所に訪れた方が足を止めて見てくれいる様子が度々あり、知ってもらう機会になった。
課題：
・スペースが限られていたため、多くは展示できなかった。
・らこって等の資料の持ち帰りは少なく、観覧者の総数も確認できなかった。
次への改善点：
・常設展の際は、展示スペースの近くの支所の方にも協力いただき、観覧者の反応等を伺えるようにする。
・資料等の持ち帰りが促進されるような展示を工夫する。

（３）協働促進業務

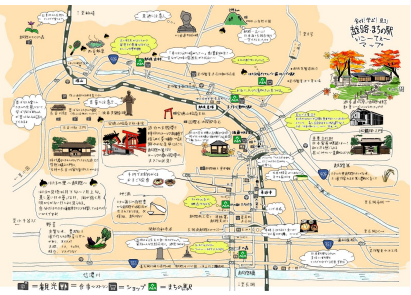
概要	継続的に長岡市内の市民活動団体や行政、企業、個人とのネットワークを構築しながら、協働しやすい環境づくりを心がける。 また、市民活動に関心を持ってもらうきっかけとして、社会情勢やトレンドを意識した一般向けに講座を開催する。
①市民活動団体、事業者等の活動 の把握	
概要・実施事項	長岡市内の市民活動団体の登録管理を中心に、市内外で社会貢献活動する団体、人、事業者の情報を収集しデータベース化していく。市内事業者の社会貢献・地域活動への取組　、プロボノとして市民活動に協力できる専門家についての情報収集を行う。

実績	○登録団体数　373団体（3月末日現在） 　4月から65団体が増えた。市民活動フェスタ参加団体の申込時に登録をしたことが要因。 ○団体登録情報の更新アンケートの実施　336団体に発送 　団体登録を最新情報に更新した。 ○市内事業者の社会貢献・地域活動への取組 の把握として、つなラジの取材を通して情報収集を行った。 有限会社 十二屋 株式会社　物理計測コンサルタント 大光銀行 魚楽 株式会社ホーネンアグリ 岡鶴堂菓子舗 株式会社コバックス 株式会社 丸共 割烹野崎家 山下家具店　ヤマシタ長岡店 ろうきん長岡支店・長岡北支店　　（11社/年）
②協働マッチングリスト等の運用	
概要・実施事項	登録団体のうち、他組織に協力・貢献できる事項について公開を望む団体を取りまとめたリストを作成・公開する。紙面、ホームページともに見やすく使いやすくなるようデザインを見直す。社会貢献・地域活動に取り組む事業者の情報についてもホームページ等で一覧を閲覧できるようなページを設ける。
実績	4月 団体情報確認、5月 構成、7月完成・8月配布（コライト情報upダウンロード可） 　・配布(NPO法人及び登録団体) 8月中旬コミセン、支所地域振興課へ配布 　（庁内はポータルにて案内） 9月らこって発送にて、まちの駅、学校、個人会員に配布 　　配布合計：約750件 2月中旬に団体調査を発送。3月中旬に調査締切した。 ○団体登録情報の更新アンケート実施の際に今年度関わった に新たに案内を送り新規登録を促し、新規登録13件獲得。 未返信団体に確認後削除する。 マッチングリストの更新及び完成は次年度。
③一般向け講演会の開催	
概要・実施事項	多くの市民に市民活動に関心を持ってもらうため、H30年に引き続き、対象をシニアに絞った講演会と、広く一般を対象とした講演会を開催する。市民と団体のマッチングの場、団体同士のマッチングの場となるよう工夫する。また、講演会の企画・開催にあたって、中間支援機関（社会福祉協議会やシルバー人材センター、ながおか若者・しごと・機構など）と連携し、相互にメリットのある機会とする。

実績	○一般向け講座　地域づくり講演会「『ふまじめさ』が地域を変える」 【目的】 ・市民協働によるまちづくりの裾野を広げる。市民主体のまちづくりに関心はあるものの、くすぶっている、一歩踏み出す機会をうかがっている人の関心を刺激する。 ・イベント型から事業型への転換の道筋を示す。持続可能な市民主体のまちづくりの先進的なモデルを紹介することで、既存の市民活動者の今後の活動意欲を喚起する。 【日時】2019年7月21日（日）13：00～15：00 【場所】市民交流ホールB,C 【講師】小松理虔 氏 【参加人数】51人（内、講師1名、協働課1名、協働C８名） 【成果】 ・自ら活動を行っている小松氏を講師選定した狙い通り、経験談を基にしたリアルな話を多く聞け、受講者は各々の活動に落とし込めて考えやすい、実践性の高い講座となった。 ・ネームバリューが高く万人受けするテーマ、講師では必ずしもなかったが、その一方で意欲の高い市民、以前まで協働センターと関係性のなかった市民が距離の遠近問わず集まり、センターにとって新たな関係性が広がった。 ・講座後にテーマを設けた自由討論、意見交換の場「ラウンドテーブル」を新規の取組みとして行ったが、参加者からは「インプットの後にアウトプットの機会もあり自身の中で思考を深めるにあたって効果的だった」と反応があり、講座の成果が高まったとみられる。ラウンドテーブルについて、事前にスタッフ間の意思疎通が不十分であったため、今後改善してより効果を高めたい。 **満足度（平均）　8.9点　　回答者数　26　人（回収率63.4%）** ※講演会後に、希望者とスタッフ、講師の簡単な懇親会を行った。 参加者19名（内、スタッフ8名、講師1名）、懇親会は独立会計 【課題】 ・ラウンドテーブルについて、事前にスタッフ間の意思疎通が不十分であった。 ・広報について、するべき手段の抜け漏れがあった。 【改善点】 ・ラウンドテーブルについて、事前にスタッフ間の意思疎通が不十分であった。 ・広報について、するべき手段の抜け漏れがあった。 ○シニア講座　「アクティブシニアのための地域デビュー講座」 ※コロナウィルス感染拡大防止の為、中止。 １．日　時：令和２年３月９日（月）13：30～14：50 ２．会　場：アオーレ長岡西棟３階　B・Cホール ３．目　的：定年間近の方（55～65歳）に、定年後も自分らしく生き生きと生活できる日々を向かえる為のヒントをみつけてもらう ４.内　容: 13：30～　開 始 13：45～14：45 第１部『キラキラ輝き続ける人生のために：心理学からのヒント』 講師：碓井真史様 15：00～15:45 第２部　活動団体紹介 ＮＰＯ法人や社協など人材を求めている団体との相談ブース 15：45～ 第３部　相談会 相談会は希望者のみ 16：30　終了 ５．参加申し込み者数　　３２名 登壇予定だった団体の活動団体紹介シートを作成しセンターで配布する。

④市民活動フェスタ実行委員会事務局の運営	
概要・実施事項	実行委員会の意見を尊重し、参加団体にとって関わりシロのあるイベントとなるよう運営に参加する。【日時】9月7日（土）10:00～15:00　　【場所】アオーレ長岡全館
実績	参加団体数：71団体（昨年61団体） 4/4 （木）　参加説明会を4回実施 4/25（木）　フェスタ第１回実行委員会 5/22（水）　フェスタ第１回全体会議 【内容】開催概要の発表、企画案のワークショップの実施　【参加者】参加団体　37団体　47名 6/7 （金）　町内会会議 6/27（木）　フェスタ第２回実行委員会 7/11（木）　町内会会議 7/25（木）　フェスタ第２回全体会議 8/22（木）　フェスタ第３回実行委員会 9/6 （金）前日準備 ***9/7（土）フェスタ本番*** 9/11（水）第4回実行委員会＆お疲れ会 11/26（火）第5回実行委員会 次年度に向けて、財源の確保と組織について話し合いが行われた。 〇経費の見直しについて 年々長岡市からの補助金が削減され今後の見通しを踏まえて収入源の確保と経費の見直し両面から検討が必要。まずは、ステージ音響費の割合が大きいためステージ参加団体を集めて意見交換をする場をつくることになった。 〇組織について 西脇実行委員長と小林委員が今年度をもって勇退されることになった。 新実行委員の候補や三役の候補など意見交換を行った。 1/23（木） ステージ団体意見交換 2/19（水）第6回実行委員会 令和2年度　新体制が決まった。樺澤代表、熊倉副代表、荒井副代表、海津副代表、西脇監事 令和2年度市民活動フェスタ事前説明会（3/12、3/28、4/2） …コロナウイルス感染拡大防止のため中止。代わりに動画を作成し配信。 令和2度の市民活動フェスタは、コロナウイルス感染の状況を踏まえ実施方法を検討していく。
⑤越後長岡まちの駅ネットワーク事務局の運営	
概要・実施事項	参加駅や役員の意見を尊重し、ネットワークの運営に参加する。 ・まちの駅を訪れていただくきっかけとする、まちの駅シールラリーの旅2019を7月下旬から9月初旬まで実施予定。 ・まちの駅ネットワーク運営研修会【新規】を4月の総会時に実施予定。 ・交流連携事業のコーディネート（長岡大学鯉江ゼミとの連携） ・総会（4月）、幹事会（翌年3月）を実施予定。
実績	＜事務局支援＞ ・4/12 (金)17：00～　平成31年度総会及び研修会を実施。 ・10/17（木）14：00～　運営幹事会を実施 ・2/26（水）運営幹事会を実施 ＜事業支援＞ ・まちの駅研修会を実施 鹿児島まちの駅連絡協議会 事務局長 河井達志氏を講師として迎え「まちの駅を最大限に活用する！鹿児島まちの駅運営ノウハウ伝授」を開催 ・7/22～9/8　まちの駅シールラリーの旅を実施。56駅中38駅が参加。 ＜交流連携事業＞ 長岡大学とまちの駅が連携した交流連携事業及び和紙の駅（小国和紙生産組合）から交流連携事業の企画提案があり実施。 ・7月～11月まちの駅越路マップリニューアル（もみじ園にて1,000部学生が配布。8000部作成） ・7月～1月まちの駅×ラジオの駅（FMながおか）まちの駅1分CM企画 令和2年1/6（月）～1/28（火）の間で各駅1分CMを5本流す。FMながおかにてOA ホームページコライトにUPしPRした。

・11/14　新潟県内まちの駅ネットワーク交流会
49名参加、長岡大学と協力して交流会の運営を行った。



２．情報コミュニケーション事業　（自主事業）

①メールマガジン	
概要・実施事項	定期的にメールマガジン登録をする個人・団体へ、直接的かつ集約的に市民活動に関する情報を（毎月2回）配信することで、市民活動の活発化に寄与する。内容は、協働センターwebサイト「コライト」の更新情報を中心に、そのほか当法人に関する情報（イベント告知、入会PR等）など。Web上に登録フォームを設けたり、イベント、講座などの参加者が簡単に登録できるような仕組み（QRコード設置など）を試み、登録者の増加を図る。目標配信数：1000件
実績	毎月第1、第3日曜日に≪きょうからキョウドウ通信≫ 7月「のも一れ」から、会場にて簡易登録の仕組みを設けた。 メルマガの定期配信を行う予定だったが、配信日が遅れることや出来ない日があった。 理由としては、直近2週間のコライトの更新情報やイベント情報をまとめるため、作業をするのに勤務時間外に作業しなければならなく定期配信が困難であった。 そこで、より配信作業が容易な日時の設定を検討し、検討結果次第で来年度より配信日を改める予定である。 メルマガ配信数　521（3月末現在） 講座開催に際してはアンケート記入に併せてメルマガ登録を促している。 のも一れに際しては会場の脇にQRコードで簡単にメルマガ登録ができる仕組みを設けている。 ホームページ上の登録フォームを設置した。
②市民活動情報紙「コライト　かわら版」	
概要・実施事項	当法人ならびに協働センターとしてwebやメールを介する市民活動の情報発信には充分に取り組んでいるものの、それらの手段で情報受信のできない市民が一定数いる。その層に対して市民活動に関する情報を、紙媒体を用いて発信することで、広範な対象に向けての市民活動活発化に寄与する。市民活動情報紙を発行（毎月1回）するとともに、それを活用することで協働センターの情報発信を補う。併せて記者クラブへポスティングし、各種メディアへ市民活動の情報を提供する。
実績	「コライト　かわらばん」を毎月発行し、公共施設に「らこって」と一緒に発送している。
③SNS・ホームページ運用	
概要・実施事項	協働センターが行う情報発信とは異なるアプローチの情報発信を、当法人のSNS・ホームページを用いて行うことで、協働センターの情報発信を補い多種多様な市民活動情報を市民に届ける。 それらの運用を通して団体会員の増加、及び当法人の財政 の盤石化を図る。 また、団体正会員、賛助会員の会員特典として、当該団体の社会貢献活動について当法人のSNS、ホームページを活用した情報発信サービスを行う。 今年度ホームページをSSLに対応させ、セキュリティを向上させるとともに、デザインの改善も図る。
実績	○SNSフォロワー数（3月末日） ・Facebookページフォロワー（市民協働ネットワーク長岡）　639（4月1日から増減：+64いいね） ・Twitterフォロワー（市民協働ネットワーク長岡）　1,760（4月から増減：+32いいね） ホームページのSSL化を進めている。
④支援者の情報公開　新規	
概要・実施事項	法人としての説明責任の履行（アカウンタビリティ）の観点、及び支援の謝意を伝える目的で、当法人を支援して頂いている方々の情報を公開する。当法人が主催するイベントの会場、夢の種プロジェクトの案内や授賞式、年間報告資料、web上などで情報を公開する。
実績	5月、7月、9月、11月、1月「のも一れ」にてスライドで紹介をした。 今後の「のも一れ」でも会場掲示する予定。

３．人材ネットワーク事業　（自主事業）

①のも一れ長岡

概要・実施事項

市民活動のきっかけづくりとして、活動を周知し、活動に関わる人の裾野を広げる場づくりを行う。具体的には、毎回テーマを決めて、学び、語り、飲み、つながる異業種異分野多世代交流の出来る交流会「のも一れ長岡」を隔月第4金曜日に行う。（奇数月、6回開催）

≪スケジュール≫

5月24日(金)19:00～21:00（目標30名）
7月26日(金)19:00～21:00（50回記念　目標100名）
9月20日(金)19:00～21:00（目標30名）※27日がアオーレ全館使用のため、第3金曜で予定
11月22日(金)19:00～21:00（目標30名）
1月24日(金)19:00～21:00（新年会　目標50名）
3月20日(金・祝)17:00～19:00（目標40名）※集客を考え、日時を変更

実績

開催日時	テーマ・内容	店主	人数
5月24日（金）19：00～	**「長岡暮らしの楽しさ倍増！まるごと生活情報の編集部に聞く！長岡の歩き方のも～れ！！」** 長岡のまちをマニアックに楽しむためのおすすめスポットを紹介。後半の共同作業＆交流会では、テーブルごとに設定した4つのテーマについてのオススメスポットを参加者同士で紹介し合うワールドカフェを実施した。 【収支】収入64,000円　支出40,329円 繰越金：23,671円	**【店主】** **・まるごと生活情報編集部のみなさん**	49名（スタッフ・店主含め）
7月17日（水）18：00～19：00	**まちカフェ活用　NPO法人市民協働ネットワーク長岡PR大作戦「野外プチのも～れ！」** まちカフェを活用し、協働センター及び協働ネットのPR、広報効果の検証、交流の促進、まちなかの賑わい創出を行った。 道行く方々に飲み物と軽食のふるまいを行い、当団体の紹介や、７月開催の講座とのも一れのPRを実施。 成果： ・高校生から高齢者まで幅広い年代にPRすることができた。 ・「近くに住んでいるけど協働センターを知らなかっ	**【事業従事者】** ・事務局スタッフ5名	**約70名**（配布飲料で推定）

		た」という方もいらっしゃり、知名度向上には外に出てPRすることも必要だと気づくことができた。 ・ままカフェPRO.と協働したことで、食物のクオリティが向上し、足を止めてくれる人も多かった。団体PRもすることができて良かった。（市民活動団体と一緒に色々展開できそうである） 【収支】収入0円　支出1,008円		
	7月26日 （金） 18：30～	**≪50回記念のもーれ≫** **地域に魔法をかける編集のチカラ　いま、ニッポンのローカルが変わる！！** 地方移住者や、地域産業など、ローカルが注目を集めている今、先駆的に地方を巡り、ローカルを主役にしたメディアづくりを行ってきた編集者、藤本智士さんによるスペシャルトークを開催した。後半は参加総数110名が交わる立食交流会。市内16蔵のお酒を飲み比べや、書籍販売コーナー、講演会の感想コーナーを設置し、つながりを育む時間づくりを行った。 【収支】収入345,585円 支出339,971円　繰越金5,614円	**【講師】** **・藤本智士氏（編集者／有限会社りす代表）** 共催：長岡の発酵ミーティン 協力： ・長岡市 ・「越後長岡」観光振興委員会 ・JA越後ながおか枝豆生産部会 ・スノーフード長岡ブランド協議会 ・日本酒たべま酒会議 ・な！ナガオカ	110名（内有料者96名、店主1名、事務局10名、協力者3名）
	9月20日 （金） 19：00～	**まちづくりクエストⅡ君を活かせのも～れ！** 市民活動やまちづくりに係る人や、一歩踏み出したい人が、自分の得意を知り、自分の良さを活かせる出会いや、つながりがうまれるようにとまちづくりクエストと題して開催。自分はどんなタイプ（性格で）、どんな仲間がいたら活動がうまく行くのかを知り、みんなで一緒にトークを聞きながらオリジナル名札を作って交流をしました。じっくり楽しく自己紹介ができ、その後交流会となったことで、初めての方も交流しやすい会となった。	**【店主】** **・唐澤頼充** **スタッフ9名**	35名（内有料者25名、店主1名、事務局9名、）

		【収支】収入　47,000円 支出17,218円　繰越金29,782円		
	10月5日 （土） 19：00～	**ベンチャーとのも～れ！** 起業の促進と、起業コミュニティの醸成を目的として、起業経験者や起業に興味のある市民、学生をターゲットに開催。ゲストには全国的にも知られたベンチャー企業とファンドからお呼びした。目的意識の高い参加者が集まり、情報交換、相互触発が盛んにおこなわれた。 本企画は樺沢理事の発案、企画のもと、主催は当法人、運営協力として㈱FARM8が入り行われた。 理事および会員によるのも一れが発案された際の事務局の業務フロー整備が今後の課題として浮かび上がった。 【収支】 ㈱FARM8により会計処理した	**【店主】** **・鈴木健吾 氏（株式会社ユーグレナ）** **・熊本大樹 氏（リアルテックファンド）**	50名（内スタッフ6名、ゲスト3名）
	11月22日 （金） 19：00～	**大妄言会のも～れ！** 長岡のまちづくりにつながることをみんなで楽しく妄想しながら交流する機会として開催。店主なしで自由に意見交換や交流ができる参加型のスタイルを実施。開始直後から参加者の自己紹介やトークの時間が多くあったので、初参加の方もすぐに打ち解けられた。参加者同士がアイデアや気持ちを共有し、コミュニケーションを深めるきっかけの場となった。 【収支】収入61,900円 支出52,692円　繰越金9,208円 その他寄付金7,395円	**【店主】**なし	41名（内スタッフ7名）

1月24日 （金） 19：00～	**夢の種のも～れ！** 今回ののも～れは、夢の種プロジェクト2019の書類選考を通過した個人、団体にプレゼンの後、会場の参加者から投票してもらい、応援コメントや寄付も会場から集め、受賞者の背中を押せるような機会として開催。 【収支】 収入　74,000円　支出　34,035円 繰越金39,965円 寄付金18,366円 内訳：かけはし　2,000円 井上有紀　1,000円 かんじてみよう　6,000円 史遊会　66円 瞽女唄　500円 ひだまり　3,500円 次年度夢の種　5,300円	**【たね部門】** **・障がい児ママサポートかけはし** **・井上有紀（ながおかHAKKUTHUプロジェクト）** **・「かんじてみよう」実行委員会** **【わかば部門】** **・ながおか史遊会** **・瞽女唄ネットワーク** **・ひだまりハウス～精神遅滞及び自閉症児を支える家族会～**	51名（内プレゼン者６名、事務局９名）

※3月20日（金・祝）に開催予定だった「のも～れ！THE WORLD ~Youは何しに長岡へ~」は、コロナウイルス感染拡大防止のため開催を延期した。

②協働マッチングリストの運用

概要・実施事項	7年間のながおか市民協働センター運営を通して集めた長岡の人材資源と情報を「協力できること」「協力してほしいこと」の協働マッチングリストにまとめ、団体間でも活用しているように作成していく。協働マッチングリストをより多くの方から活用していただけるよう、理事や法人会員への配布も行い、掲載団体拡大のため情報提供の呼びかけをする。
実績	7月31日 完成。NPO法人及び登録団体、コミセン、支所地域振興課へ配布をした。 アピタパネル展示の際に、ピックアップした団体のマッチングリストを設置 2019年版は完成配布済み 協働センターにピックアップ団体のマッチングリストチラシを設置し、市民が気軽に手に取ってもらう工夫をした。

４．ファンドレイジング事業　（自主事業）

①会員獲得

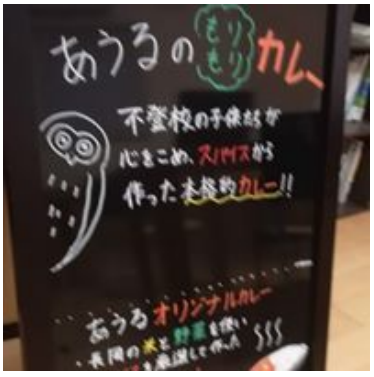
概要・実施事項	会員獲得や寄付を募りやすい仕組みづくりを行う。また、市民活動団体を奨励する「夢の種プロジェクト」の企画・運営を行い、市民の挑戦したい気持ちを後押しできるようにする。 その他、研修等を利用して基金や財団についての勉強を行う。
実績	法人パンフレットを一部内容変更し、新規作成した。（配布パンフ参照） 次年度春に一部数字を変更し増刷予定。 当法人も加入している、ながおかソーシャルビジネス支援ネットワークが主催した、「ソーシャルビジネスにおける資金調達方法～組織の潜在力を生かした財源確保～」に渡辺、太田、高橋が参加。（講師は一般社団法人ふくしま百年基金　代表理事　山崎庸貴氏）

②夢の種プロジェクトの運用企画

概要・実施事項	長岡市をさらに住みよく活力ある地域にするため、市民から楽しいアイデアやチャレンジを広く公募し、柔軟で斬新なアイデアを実現していくコンテストを開催する。長岡市に在住、在学、在勤する個人又は団体対象で、長岡市の地域活性化に向けた実現可能なアイデアに活動支援金を贈呈する。また、会員による審査（投票）やプレゼン大会など、審査方法の検討をする。
実績	○夢の種プロジェクトチャリティーコーヒーの運営補助業務 ・チャリティーコーヒー売上（H31.4～R2.3月末日） 【収入の部】　496,413円　① 前期繰越額　246,001円 売 上 額　215,110円 協働ネット寄付　30,000円 寄 付 収入　5,300円 利　息　2円 【支出の部】　276,414円　② 材 料 費　76,414円（豆、消耗品費） 夢の種表彰　200,000円 【総額】　①－②　219,999円　（R2.3月末日現在） ・夢の種プロジェクト2019 1月24日（金）ののも一れ内にて、プレゼン審査と表彰式を実施済み。その結果は、HP、SNSで公開済み。 【プレゼン審査結果】 たね部門…金賞：井上有紀さん 『10代に本と出会いを届ける！ながおかHAKKUTSUプロジェクト』 銀賞：「かんじてみよう、」実行員会 『中高生向け哲学対話「かんじてみよう」』 銅賞：障がい児ママサポートかけはし 『共・友プロジェクト～友と共につくる唯一の作品展～』 わかば部門…金賞：ひだまりハウス～精神遅滞及び自閉症児を支える家族会～ 『遊ぶ！学ぶ！深め合える！きょうだいの輪』 銀賞：ながおか史遊会『ヒューマンライブラリー長岡』 銅賞：瞽女唄ネットワーク 『伝える伝わる瞽女唄の心「親子で聴く・見る・唄う会」』

③寄付等情報収集及び制度の勉強

概要・実施事項	寄付、遺贈、コミュニティ財団等の情報収集を行い、資金調達の効果的な方法についての勉強を行う。寄付の振り込み易さ向上に向け、スマートサプライの導入検討　新規

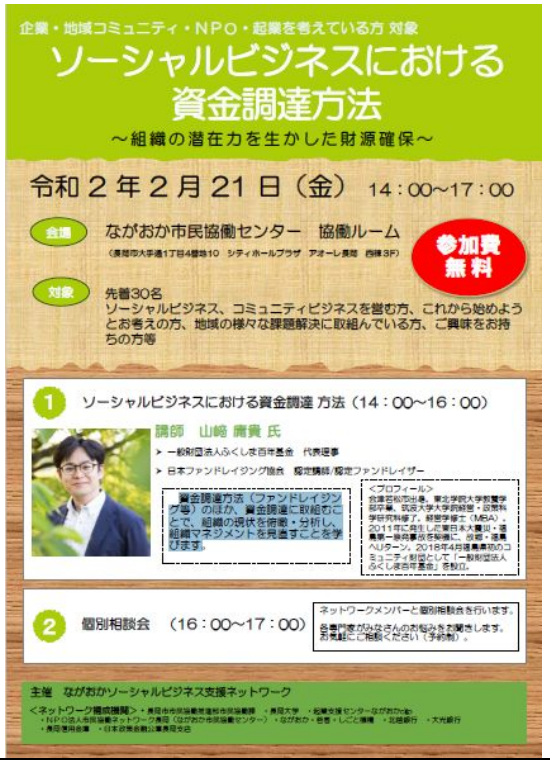
実績	「笑顔いきいきファンド」の開設及び体制づくり 個人、団体、企業等から頂いた寄付を原資として、公益的、社会的な事業や活動を支援する為に、営利を目的としないファンド。社会的価値や公益の実現がリターンとなる「市民ファンド」の形態。 **受付NO１**　子育てサークルねんねこ：0～3歳児までの「乳幼児親子の食堂」 ・２０１９年８月２３日申請　９月３０日決定 ・１０万円 **受付NO2**　ＮＰＯ法人　学びスペース　あうるの森：ばくばくマルシェにてカレー屋台出店 ・２０１９年１０月２１日申請　１１月１日決定 ・１０万円  **受付NO3**　採択団体　「子どもみらい食堂」：代表　日吉均子 長岡市学校町の長岡聖契キリスト教会1階を会場に、子ども食堂、子どもの学習支援等を行っている。 ・２０２０年２月２５日申請　３月２日決定 ・１０万円 ・1件につき2万円（決定金額の２０％）の手数料を法人に納入　<u>残金６４０，００５円</u>

５．コーディネート事業　（自主事業）

概要	他団体からの相談や依頼のもと、プロジェクトチームを組み事業協力や派遣など随時実施。 協働を更に推進するため、きょうどう通信を利用して、身近な協働の発信とコーディネートを行う。 ・講師、ファシリテーターの派遣・ワークショップや講座の企画・運営など ・市民活動フェスタへの出店 ・きょうどう通信の執筆管理（理事より年間1記事執筆してもらう） ・法人として、講座や講演などできることを整理し、料金設定とともに情報発信を行い、委託外の事業も行っていく。
①各種団体との事業協力・協働事業	
概要・実施事項	NPO法人市民協働ネットワーク長岡の持つスキルが各種団体の支援となることで、市民活動や協働を広げる。依頼や相談があれば、随時事務局内で検討・実施をする。理事の協力を仰ぐ内容については、個別に相談をして検討・実施をする。
実績	○受託事業報告 多様な主体による協働フォーラム　（新潟県県民生活課） 「本当に地域を盛り上げるための地域資本主義のはじめかた」 【実施内容】 講演名「本当に地域を盛り上げるための地域資本主義のはじめかた」 日　時　1月30日（木）13：30～16：30（開場：13：00） 会　場　アオーレ長岡西棟3階　ホールＢ．Ｃ （新潟県長岡市大手通1-4-10） 定　員　50名　※好評のため増員参加者97名 対　象　企業、市民活動団体、行政他まちづくりに興味のある方 参加費　無　料 ＜第１部講演会＞『鎌倉資本主義』に学ぶこれからのまちづくり ／面白法人カヤック代表取締役ＣＥＯ　柳澤大輔 様 ＜第２部パネルディスカッション＞ 「地域でＯＮＥ ＴＥＡＭを実現するには」 ゲスト…株式会社Ｕ・ＳＴＹＬＥディレクター　松浦柊太朗様 ＮＰＯ法人　いわむろや事務局長　小倉　壮平様 株式会社池田組　専務取締役　池田　雄一郎様 受託金額330,000円（税込み）
	○２０２０ながおかワーク＆ライフセミナー（連合中越）　【受託事業】 ■2月11日（火・祝日）　13：30～

内容　SDGｓ入門講座とワークショップ
講演　「お笑いSDGｓ入門」
講師　高橋なんぐ　NAMARAメンバー
ワークショップ　NPO法人市民協働ネットワーク長岡
会場　第１部　長岡市社会福祉会館トモシア
受託金額200,000円（税込み）

○ソーシャル支援ネットワーク長岡　【運営協力】
■8/22　NPO融資勉強会を開催。
日本政策金融公庫、新潟県労働金庫、保証協会、センタースタッフ参加。
■2/21　14：00～　「ソーシャルビジネスにおける資金調達方法」開催
内容　資金調達方法（ファンドレイジング等）のほか、資金調達に取組むことで、組織の現状を俯瞰・分析し、組織マネジメントを見直すことを学ぶ
講師　講師 山﨑 庸貴 氏
☂一般財団法人ふくしま百年基金 代表理事
☂日本ファンドレイジング協会 認定講師/認定ファンドレイザー
先着30名
対象　ソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを営む方、これから始める方、地域の様々な課題解決に取組んでいる方等



期間	形態	謝金	依頼者	事業名	役職	派遣者
通年	継続	無	地域振興戦略部	地域ｺﾐｭﾆﾃｨ事業補助金	審査委員	渡辺（美）

				審査会		
通年	継続	無	ながおか若者しごと機構	理事会	代表理事	羽賀
〃	継続	無	ながおか若者しごと機構	〃	副代表理事	渡辺（美）
〃	継続	無	長岡市社会福祉協議会	ボランティア大学 基礎講座講師	講師	高橋
R1.7～R2.6	新規	無	子ども家庭課	子ども・子育て会議	委員	渡辺（美）
通年	継続	無	市民協働課	長岡市民活動フェスタ	委員長	西脇
通年	継続	無	長岡大学	「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」推進協議会	委員	渡辺（美）
通年	継続	有	若者サポートステーション	ジョブトレーニング受入	―	西脇
R1.4～R2.3	継続	無	長岡市教育委員会	熱中！感動！夢づくり教育推進会議	委員	渡辺（美）
R1.5～R2.9	新規	無	長岡市教育委員会	長岡市教育委員会 事務評価委員会	委員	渡辺（美）
R1.7.8	継続	無	関東ＥＰＯ	関東ＥＰＯパートナーズミーティング	―	高橋
R1.7.11	新規	有	長岡市レクリエーション協会	チラシ作成	―	伊佐
R1.6～12	継続	無	長岡市立上通小学校	はなはすれんこんプロジェクト	講師・コーディネーター	太田
R1.4～R2.3	継続	無	長岡市政策企画課	東山通信会議	―	太田 樺沢理事
R1.4～R2.3	新規	有	長岡大学 鯉江ゼミ	長岡大学地域活性化プログラム	アドバイザー	太田
R1.8.21	新規	有	新潟県税理士協同組合	協働研修会	講師	渡辺 ・太田
R1.8.31	新規	無	若者しごと機構	アイデア実現RPG 「あいキャン」	アドバイザー	唐澤
R1.9.23	新規	有	王寺川コミセン	国際交流イベント	―	太田 須貝
R1.9.28 ～29	新規	有	ながおか起業支援センター	「Nagaoka Startup × women」	アドバイザー	伊佐
R1.10.18	新規	有	長岡市市民協働課	コミュニティーセンター運営研究会WS	ファシリテーター	渡辺、福田、伊佐、太田、須貝、髙橋
R1.12.4	新規	有	長岡商工会議所青年部	広報委員会　公開委員会講座	講師	髙橋
R2.1.30	新規	有	新潟県県民生活課	協働フォーラム	コーディネート	主担当太田 事務局スタッフ全員
R2.2.11	新規	無	連合中越	ワークライフフォーラム	コーディネート	渡辺、 太田
R2.2.21	新規	無	政策金融公庫 長岡支店	ソーシャルビジネス支援ネットワークセミナー	協力	太田

②きょうどう通信の執筆管理	
概要・実施事項	協働を更に推進するため、きょうどう通信を利用して、身近な協働の発信とコーディネートを行う。市民協働ネットワーク理事及び事務局員が年間1記事ずつ執筆する。執筆記事は協働ネットワークのメールマガジン、コライトかわら版及びFacebookにて発信する。コーディネート事業

	が進むよう情報発信を強化する。発信は情報コミュニケーション部会が行い、執筆管理はコーディネート部会が行う。
実績	事務局スタッフ、理事から提出された原稿を各媒体に掲載した。
③各種団体との事業協力・協働事業　(情報発信の強化)　【新規】	
概要・実施事項	NPOとしての実績も出てきており、今後は法人としてできることを、しっかり見える化し、自主事業の獲得に力を入れるため、法人HPなどで情報発信を行う。 できることを整理し、料金表の開示。
実績	・法人ホームページ一部修正 〇ソーシャル支援ネットワーク長岡 8/22　NPO融資勉強会を開催。 日本政策金融公庫、新潟県労働金庫、保証協会、センタースタッフ参加。 〇法人ホームページに講師派遣情報を掲載。協働センターHP、Instagram、Facebookにて活動を報告